

ノーチラス 4バー・リンケージ

特許を取得しているノーチラスの4バー・リンケージは、変化する筋力に対して自動的に抵抗力を調整する技術です。特定のエクササイズのあらゆる動きに対応します。

ノーチラスの4バー・リンケージ・システムは、主に次の4つの方法で展開します。

1. 変化する回転軸をつくる 4バー・リンケージ

4バー・リンケージは、腰や腹部など変化する回転軸を持つ動きに適用することができます。私たちが脊椎を中心に回転する際、この回転軸は、複数の脊椎の周囲の回転によって、常時変化を続けます。特許を取得しているノーチラスのソリューションのように、正確に設計された4バー・リンケージでは、この回転軸を模倣し、これらの動きに非常に大切な配置を維持し、また正確なフォームへと導きます。

(2STアブドミナル・ローワーバック、Studioアブドミナル、NITROアブドミナル・ローワーバックで使用)。

2. 制御された動きをつくる 4バー・リンケージ

4バー・リンケージは、レッグプレスなどの多関節運動に適用することができます。こういった動きには、ノーチラスの4バー・リンケージがつくる特定の縦横断回転路が必要とされ、これによってバイオ機械的な正確性、生産性と安全性の高さが実現します。

(2STレッグプレス、NITROレッグプレス、Studioレッグプレス、XPloadレッグプレス、GRAVITRONで使用)。

3. 機能をつくる 4バー・リンケージ

4バー・リンケージは、力のインプット機能のひとつとして、力の曲線アウトプットを行うメカニズムであり、マシーンに適用することができます。つまり、カムのように機能するのです。オーバーヘッドプレスや、バーティカルチェストに見られるように、強度の曲線が急速である多関節の動きに役立ちます。確動カムでは、複合運動マシーンにおいて抵抗力の曲線を描くスピードが十分でないため、激しく変化する抵抗力曲線を取得するには、ずっと高価な不確動カムを適用することが必要です。ノーチラスの4バー・リンケージは、機能をつくるシステムとして不確動カムのような急速に変化する曲線に対応する一方で、お手頃な価格、高度な耐久性と低メンテナンスを実現しています。

(2STバーティカルチェスト・オーバーヘッドプレス・インクラインプレス・バイセプスカール・コンパウンドロウおよびに、NITROバーティカルチェスト・オーバーヘッドプレス・インクラインプレスで使用)。

4. 調整システムとしての 4バー・リンケージ

ノーチラスの 4バー・リンケージは、調整を行うためのシステムとして使用され、これによりノーチラスのマシーンが動きの一定の角度あるいは水準を維持することが可能になっています。例えば、レッグエクステンションやシーテッド・レッグカールで用いられるシートバック調整などがこれにあたります。

備考:

2ST=ノーチラス 2ST エクイップメントライン

Studio=ノーチラス Studio エクイップメントライン

NITRO=ノーチラス Nitro エクイップメントライン

XPload=ノーチラス XPload エクイップメントライン

GRAVITRON=ノーチラス Gravitron エクイップメントライン